

龍ヶ崎市議会

議会報告会 & 意見交換会

道の駅・湯ったり館
今後の方向性について

令和5年11月18日（土）



次 第

- 1 開 会
- 2 議長挨拶
- 3 議員紹介
- 4 議会報告
 - ①道の駅について
 - ②湯ったり館について
- 5 意見交換

前半30分—休憩5分—後半30分
- 6 閉 会

報 告

～道の駅について～

道の駅整備事業

これまでの経緯と議会での議論

2012年 2月	市最上位計画に位置付け
2015年11月	道の駅基本構想 策定
2017年 2月	道の駅基本計画 策定
2018年 9月	護岸改修工事 発注
2019年 7月	想定以上の軟弱地盤により護岸改修工事 契約を解除
2019年12月	整備予定地内に埋設物を確認 開業時期の延期決定（開業時期未定）
2021年12月	市長選挙 当選した現市長の公約「道の駅再検証」

2022年 4月	再検証を開始
2022年10月	議会へ再検証の状況を説明
2022年11月 ～12月	ホームページ、りゅうほ一等により 市民に公表 市民へアンケート実施 市民との意見交換会実施（2回）
2023年 3月	機能を縮小した道の駅を整備すると 方向性を決定
2023年 6月初旬	台風2号による大雨により整備予定地 の隣接地において牛久沼越水

市からの再検証の結果報告

基本計画に基づく道の駅の場合

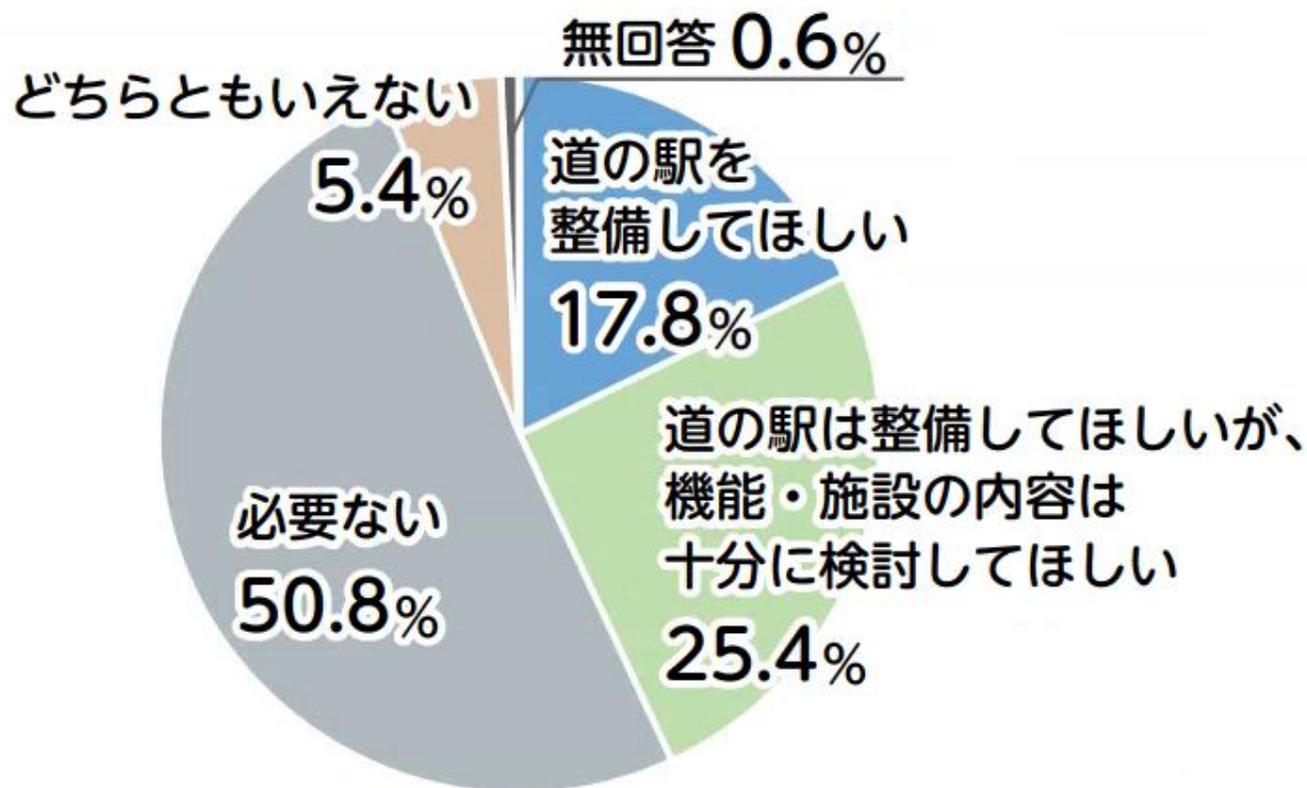
広場として整備した場合

○概算事業費	25億6,100万円	11億1,400万円
○利用者数	80万人/年	—
○売上高	8億9,700万円/年	—
○ランニングコスト	4,000万円/年(※)	3,700万円/年(※)

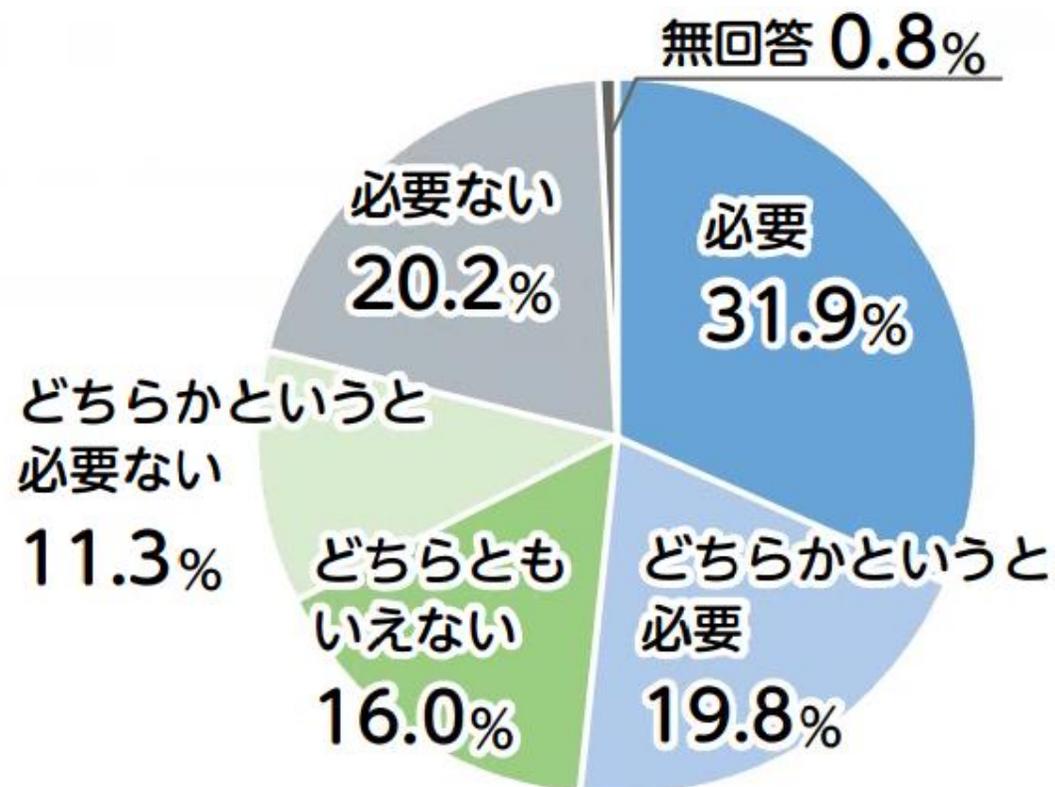
※大規模修繕費や施設収益を含まず試算

市民へのアンケート結果（2023年2月）

道の駅整備について



牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりについて



再検証の結果、市から示された「道の駅」(2023年3月)

<整備コンセプト>

本市の貴重な地域資源である牛久沼のほとりに、にぎわいと交流の拠点となる道の駅を整備し、まちの活性化と市の認知度アップを図る。

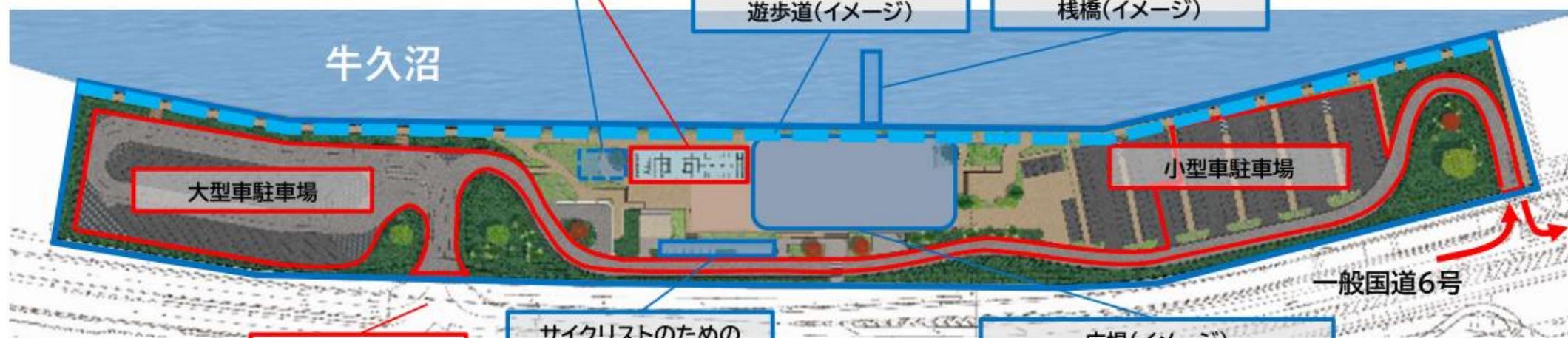
トイレ休憩施設
情報提供施設
子育て支援施設



遊歩道(イメージ)



栈橋(イメージ)



交差点(イメージ)

サイクリストのための
駐輪場(イメージ)

広場(イメージ)

凡例

国整備

市整備



再検証の結果、市から示された「道の駅」(2023年3月)

2028年度(令和10年度)オープン目標

- 概算事業費 17億5,700万円
- ランニングコスト 3,100万円/年(※)
※大規模修繕費や施設収益を含まず試算
- 物販・飲食施設を公設する考えは白紙
- 景観を活かす
- 水上スポーツ・サイクリストの拠点
- 情報展示スペース
- キッチンカーなどを誘致できるエリア



牛久沼越水（2023年6月）



議員

「中止の決断をするときでは」
という意見も

市長

「まずは治水対策を最優先」
(中止しない)

議会での議論、提言の経過

- 本会議一般質問や委員会において、多くの議員が発言
- 議員18名から提言書を提出（2022年9月）
- 全員協議会において、意見の集約を図っている（数回実施）

皆さまの声を

お聞かせください



報 告

～湯つたり館について～

入館者数の推移

平成15年度

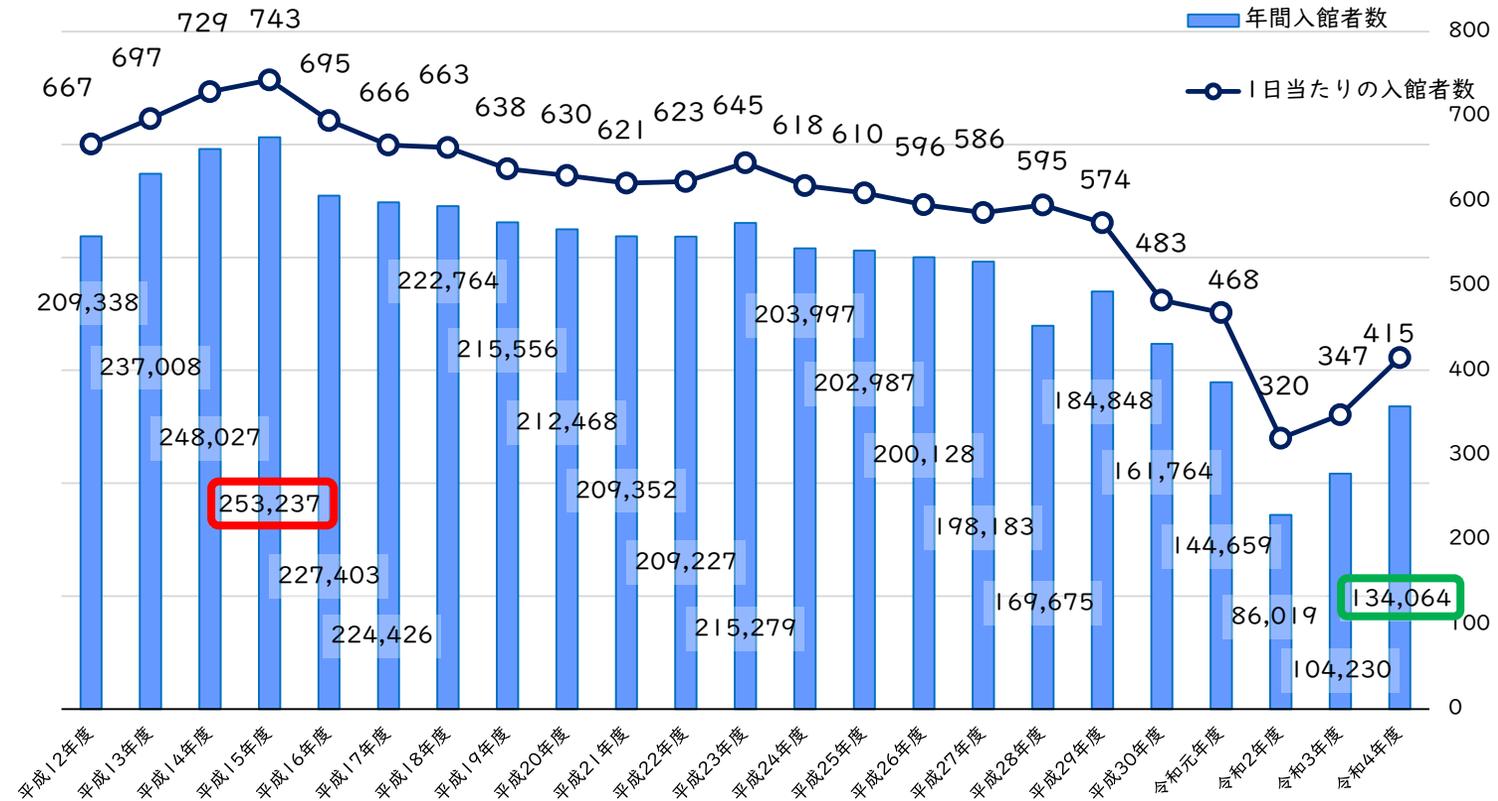
253,237人



令和4年度

134,064人

湯ったり館入館者数の推移

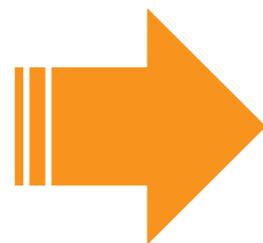


事業費（1）

【令和4年度】

使用料収入 約0.7億円

事業費歳出 約1.7億円



実質的な市負担額は

年間 約1億円

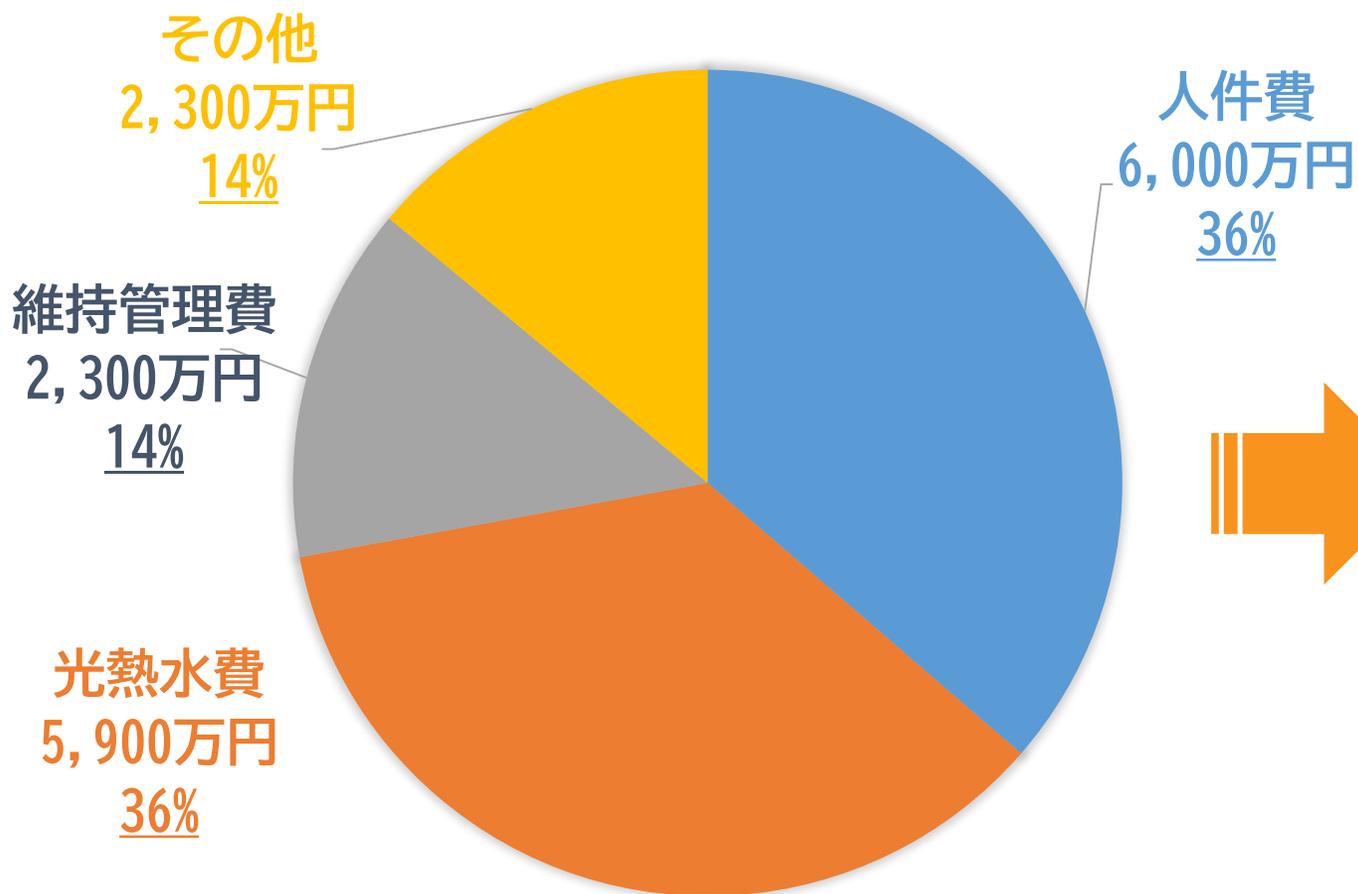
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
使用料収入	87,603,420	95,563,380	85,009,850	75,971,710	43,144,770	52,521,030	70,260,382
事業費歳出	181,088,871	158,127,868	142,659,864	159,801,450	133,534,220	134,100,000	169,800,000

※H28・R2・R3は長期臨時休館の期間あり。

事業費（2）

令和4年度

指定管理者 運営事業費の内訳割合



人件費・光熱水費が
全体の70%以上
を占める

課題

入館者数の確保

入館者数の減少／入館者の固定化

施設の有効活用

未利用スペース・低い宿泊稼働率

収支状況の改善

入館者減少に伴う使用料収入等の減少
人件費・光熱費・修繕費等の増加



事業継続に向けた改善策（案）

前提

温浴施設事業を主とした運営

指定管理期間：5カ年度

一部利用料金制の導入

宿泊事業の廃止

利用料金の変更
(現行520円を680円に)

一般公募による指定管理者選定

営業時間の変更
(全日午前10時～午後9時)

指定管理者直営による飲食提供

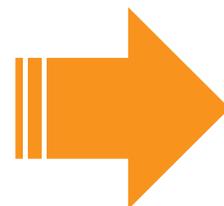
改善後の事業費試算（1）

5年間

入館者数見込み 135,000人（R6）～145,000人（R10） ※毎年2,500人増加

運営事業費 歳入（指定管理者収入） ※R6～R10試算（5年間）

■使用料収入 4億4,200万円
■その他収入 1億2,700万円

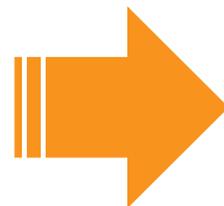


運営事業費 歳入（5年間合計）
5億6,900万円

運営事業費 歳出（指定管理者支出） ※R6～R10試算（5年間）

■運営事業費（単年）
2億600万円～2億1,100万円

※約8割を、人件費と光熱水費が占めている



運営事業費 歳出（5年間合計）
10億3,900万円

改善後の事業費試算（2）

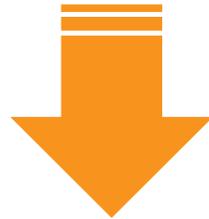
5年間

市負担総額 ※R6～R10試算（5年間）

■指定管理料

(運営事業費 歳出) (運営事業費 歳入)
10億3,900万円 - 5億6,900万円 = 4億7,000万円

■工事・修繕費等 7,000万円



市の負担総額は…

5年間で **5億4,000万円** (年間 約1億円超)

今後の方針案

- 湯ったり館は令和5年度末をもって、これまで同様の運営形態での施設運営は終了する。

ただし、最終決定が令和6年4月以降となる場合は、休館とする。

- 今後の利活用策を含む交流ゾーンの運営方針の検討においては、サウンディング調査を行うなどして、農業公園豊作村の設置趣旨に沿う、地元住民はもとより多くの市民に喜んで利用してもらえる事業を検討していく。

なお、サウンディング調査は11月1日より実施している。

議会の意見

運営は民間に
委託すべき

交流ゾーンの利活用
と施設活用を一体的に
考えるべき

利用者の意見や
理解が必要

民間事業者へ
もっとアピール
すべき

収支改善に向けた
対策をすべき

サウンディングが
もっと必要

市で負えないならば
早急に道筋をだすべき

みなさまの声を

お聞かせください



龍ヶ崎市農楽公園豊作村
温浴交流施設

湯
た
り
館

営業時間
平日/10:00~22:00
土日祝/9:30~22:00
11月2日/11月4日

龍ヶ崎市農楽公園豊作村
温浴交流施設

湯
た
り
館

龍ヶ崎市農楽公園豊作村
湯ったり館

意見交換会



まいりゅう
MAIRYU

本日はご参加いただき
ありがとうございました

アンケートにご協力ください